

MBC ラジオ『ココが聞きたい！ドクタートーク』2024.10.12

第 1119 回放送分『眼科疾患』2 回目

ゲスト：土居範仁ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは、「眼科疾患」をテーマにお送りしています。
お話は、鹿児島県医師会 土居範仁（どい のりひと）ドクターです。
土居さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

土居範仁Dr.

よろしくお願ひいたします。

二見いすず

今月は、アイフレイルについてお話いただいております。
アイフレイルというのは、目の老化現象のことで、60歳を過ぎてから多くなりますが、先週お話し
いただいた老眼は、40代半ば頃から自覚される方もおられるとのことでした。
そしてアイフレイルには老眼以外にも、白内障や緑内障、加齢黄斑変性などの初期症状が含まれる
とのことでした。

土居範仁Dr.

はい。今日は白内障についてお伝えいたします。
白内障の主な原因は今月のテーマである“アイフレイル”目の老化です。
70歳を過ぎると多くの方が、白内障になります。

二見いすず

分かりました。白内障になると、見え方はどう変わのでしょうか？

土居範仁Dr.

主な症状としては「目のかすみ」「まぶしさ」などがあります。
進行すると「視力低下」が顕著になります。原因は、目の中の水晶体というレンズが濁ることで起
ります。

二見いすず

なにか痛みを伴うとか、そういったものはないのでしょうか？

土居範仁Dr.

そうですね。痛みや充血などはありません。

二見いすず

ちなみに白内障は、「検診をマメにしておけば防げる」というものではないのでしょうか？

土居範仁Dr.

残念ながらそうではないですね。

初期のうち薬によって進行を遅らせることができる場合がありますが、くすりで改善することはありません。しかし、手術をすれば、良くなるのが、期待できます。

二見いすず

そうなんですね。それなら安心できますね。

ちなみにどのくらい症状が進んだら、手術したほうが良いとご判断されますか？

土居範仁Dr.

視力がいくつまで低下したら、手術が必要といったはっきりしたものではありません。ご本人が日常生活や仕事に不自由さを感じるようになったら手術をおすすめします。

二見いすず

手術ではどのようなことをするのでしょうか？

土居範仁Dr.

濁った水晶体を新しい透明な眼内レンズに置き換える手術です。

眼内レンズは長期間透明で、ふつうは交換を必要とすることはありません。

二見いすず

そうなんですね。眼内レンズというものは、どういうものなのでしょうか？

土居範仁Dr.

濁った水晶体を取り除いて透明なレンズを入れるわけですから、はっきりきれいに見えるようになります。

二見いすず

こういったお話を伺いますと、人間が本来もっている水晶体の機能がいかに素晴らしいかを再確認することができますね。

土居範仁Dr.

そうですね。

二見いすず

今月は、「眼科疾患」をテーマにお送りしています。

お話は、鹿児島県医師会 土居範仁ドクターでした。

土居さん、ありがとうございました。

土居範仁Dr.

ありがとうございました。